

第35回

心のエンジンを駆動させる みらいの高校教育

取材・文／(株)エム・シー・コミュニケーションズ

日本三景の一つ「天橋立」があることで知られる京都府宮津市。多くの観光客が訪れる一方で、人口は減少し続けており、市全域が過疎地域に指定されている。学校にもその影響は波及し、2020年4月に京都府立宮津高校と同市に隣接する与謝野町の京都府立加悦谷高校を統合。各高校の建物は学舎として存置し、約610人の生徒が通っている。統合以降は、一部教科でオンラインによる遠隔合同授業を行ったり、部活動を合同で取り組み、一つのチームとして大会に出場したりするなど、学舎制ならではの取組が進められている。

京都府立 宮津天橋高等学校

京都府

Safari: 探究の海へ漕ぎ出せ!
学舎を越えた協働的な学びへの
挑戦～遠隔合同授業×ICT活用
×総探学習 NEW TYPE
を創り出せ!

対象予定生徒数：610人